

2022年度①

刑 法

(全 2 ページ)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙・下書き用紙は、この冊子の中に折り込んであります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入ください。
4. 解答は指定された範囲に記載すること。「書き終わり」をこえて記載した場合は、採点をしないことがあります。
5. 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は持ち帰りください。

刑 法①

次の問題 I・IIのうち1問を選択して解答しなさい。(100点)

解答用紙に選択した問題の番号を記入すること。

- I 次の【事例】を読み、甲の罪責について、具体的な事実を指摘しつつ答えなさい
(特別法違反の点は除く)。

【事例】

- (1) 甲は、Vと知り合い、やがて好意を寄せるようになった。Vは、甲に対して、格別の好悪の感情を有していなかったが、甲は、Vが自分に好意を抱いていると信じる一方、Vが別の男に近づこうとしていると誤信していた。
- (2) 5月10日、甲は、別の男とVが会おうとしていると信じて、Vを刃物で刺し殺した上で、自分も自殺しよう、と考えた。
- 甲は、Vがソフトボールの経験を有すると聞いていたことなどから、身のこなしが速いVの動きを止めるために自動車を衝突させて転倒させ、その上で包丁で刺し殺す、との計画を立て、うまく転倒させるべく、適当な速度で走行しようとして路上で練習をした。
- (3) 同日午後6時20分ころ、Vが路上を歩いていたところ、同所に自動車を停めてVを待ち伏せしていた甲は、Vを認めて自動車を発進させ、時速約20キロメートル程度の速度でVの右斜め後方から車両前部を衝突させた。しかし、甲の思惑と異なって、Vは転倒することはなく、ボンネットに跳ね上げられて、後頭部をフロントガラスに打ち付けた上、甲の車両が停止した後、路上に落下した。その際Vは全治10日ほどの頭部挫傷等の傷害を負った。
- (4) 甲は、意外にもVがボンネットに跳ね上げられて、路上に落下し、立ち上がるうとするその顔を見て、急に同女を殺すことはできない、との考えを生じ、自動車を停止させた後、包丁を手にとることなく降車した。そして、立ち上がって現場から逃げるVを追い掛け、Vに追いつくと「ごめんなさい。」などと述べ、さらに「Vさんを殺して死ぬつもりだった。」などと言った。
- Vは近くの保育園に逃げ込んで警察に通報したところ、臨場した警察官によりその場に立ち尽くしていた甲が逮捕された。

II 次の【事例】を読み、甲の罪責について答えなさい（特別法違反の点は除く）。

【事例】

- (1) 甲は、指名手配されて潜伏中、生活費に窮したため、Xという氏名で就職しようと考え、履歴書用紙にXの氏名、虚偽の生年月日、虚偽の住所等を記入した上、Xと刻した印鑑を押捺し、更に甲自身の顔写真を貼付して履歴書を作成した。
- (2) その後、甲は、広告で見たA社人事部にその履歴書のPDFファイルを電子メールに添付して送信し、A社人事部長Bの面接試験を受け、A社に入社した。その際、Bは、A社のプリンターで印字された上記PDFのプリントアウトを甲から提出された履歴書として面接の資料に用いた。
- (3) A社入社後、甲は、A社人事部から、自己の顔写真入りのXという氏名が記載された従業員証の交付を受けた。甲は、この従業員証を利用し、金融機関C社D支店からX名義で30万円を借りたが、当初の計画に従って期限内に利息分も含め返済した。